

入学式から2カ月がたちました。キャンパス生活にもようやく慣れた様子の新入生たち。そこで今年も聞きました。「You はなぜ、何しにクマホ大へ？」

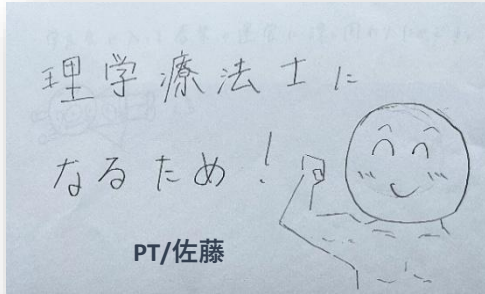
新入生に
聞きました

なぜ

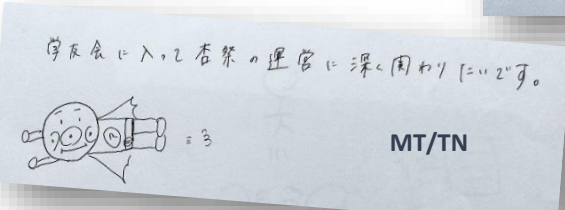
Youは何しにクマホ大へ？

同じ目標を持った学生と学べる環境が整った大学だと思ったから。(MT/つき)

熊保で海外留学をして、自分の将来の幅を広げたいです。海外で働いてもいけるような人になりたいです。(Ns/K)

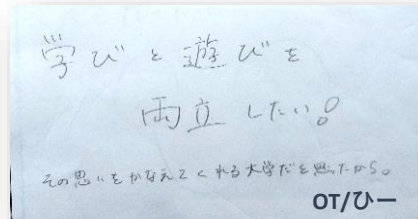


小児領域の言語聴覚士になり、発達や障害等で苦しむ子どもたちを支えたいと感じ、資格取得率が高く大学の雰囲気も良いこの大学を選びました。(ST/きむ)



この大学の仲間といっしょに、大学生活を楽しみたいです！(OT/くらん)

将来の自分への自己投資、そして夢の実現 (PT/うめ)



海外留学！ アメリカ、タイ、韓国の大学で文化の違いや医療体制を学びたいです。(MT/たらこ)

設備の整った環境で、夢に向かって頑張りたい！素をさらけ出せる一生の友達を作りたい！勉強にもバイトにも部活にも全力で取り組む！(OT/チャーシュー)

熊保大は専門的なことを学ぶ以外にも、海外への留学、医療ボランティア、ピア・サポート活動など、勉強以外のことも学んだり経験することができる！！(ST/みゆ)

看護師の免許を取得して、子どもの信頼を得られる養護教諭になるため！！(Ns/ひなこ)

◆将来は救急や災害の現場で活躍できる看護師になりたいと考えています。DMAT看護師になりたいとも考えています。災害について学べる、看護についても学べるこの大学を選びました。(Ns/ふーな)

◆アスリートのためのランニングシューズやウォーミングアップの時の簡単でかつピンポイントに刺激できるストレッチドリルを開発したい。(PT/M.I)

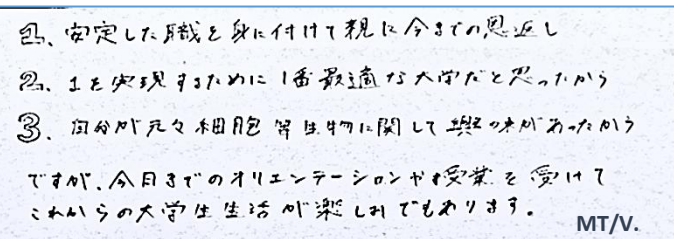
◆私の母が熊保大卒で検査技師として今も働いている。私は幼い頃から母のように陰から人を助ける仕事に就きたいと思い、母が育ったこの大学に来了。(MT/なずび)

◆熊本保健科学大学は九州でも数少ない言語聴覚士養成校であり、キャンパス内の雰囲気やスモールグループ制度に魅力を感じ、志望しました。(ST/れーな)

◆新しいことに挑戦したいと思っています。高校で挑戦してきたことに後悔はありません。しかし、自分にはできないと感じ諦めたこともあったので、大学では自分が本当にやりたいことを選択して頑張っていきたいと思っています。(OT/赤ペン)

◆免疫について専門的に学びたいです。りんご病とSLEの症状が似ているのはなぜか、2つの病気をより早く見分けられる検査方法を生み出すにはどうしたらよいか、などを研究してみたいです。(MT/Zipper)

◆今までやらなかったボランティアなどの活動にも積極的に取り組み、様々な人と会うことで、自身の視野を広げ、たくさんの経験を積んでいきたいです。(ST/名無し)



日本学術振興会による科学研究費助成事業（科研費）の令和8（2026）年度分の交付が決まりました。新規の申請は37件で、採択率は32%。継続は延本学関係の新規採択は前年度より2件多い12件でした。内訳は、基盤研究（C）が10件、若手研究が2件。新規の申請は37件で、採択率は32%。継続は延本学関係の新規採択は前年度より2件多い12件でした。（NL編集部）

◇令和8年度科研費新規採択研究(本学関係分)◇

研究種目	氏名	研究期間	研究課題名	交付予定額 (直接経費)合計 (千円)
基盤研究(C)(一般)	安案健作 教授	2026-2028	HIV-1 Gag MAドメインがカルジオリピンに結合することの意義と創薬への応用	3,500
基盤研究(C)(一般)	土井篤 研究員	2026-2028	革新的神経細胞単離法で迫る、脳梗塞後の神経細胞可塑性	3,500
基盤研究(C)(一般)	鳩野洋子 教授	2026-2028	自治体に再雇用された定年退職保健師を活かす「プラチナ保健師就労モデル」の開発	3,400
基盤研究(C)(一般)	熊谷有記 教授	2026-2029	看護師主導のがん患者アピアランスケアパスの構築	1,200
基盤研究(C)(一般)	松尾崇史 准教授	2026-2029	高齢者の加齢に伴う注意の側方性変化と行動評価の関連	3,500
基盤研究(C)(一般)	飯山有紀 教授	2026-2028	軽度認知障害者を対象とした行動変容促進サポートプログラムの効果検証	3,400
基盤研究(C)(一般)	松原慶吾 准教授	2026-2028	地域在住高齢者を対象とした全身・膝下関連筋レジスタンス運動複合介入の効果検証	3,300
基盤研究(C)(一般)	山本良平 准教授	2026-2028	行為主体感の変化に基づく視覚フィードバック調整法による運動学習効果	3,200
基盤研究(C)(一般)	仙波梨沙 准教授	2026-2030	買い物行為における物品探索の縦断的解析とその多要因背景の解明	3,100
基盤研究(C)(一般)	村上美華 教授	2026-2028	化学療法中の乳がん患者の倦怠感セルフマネジメント評価尺度の開発と妥当性の検証	1,900
若手研究	亀山広喜 准教授	2026-2028	がん細胞による悪性ニッチ構築:P-cadherinを介した自己環境リモデリング機構の解明	3,500
若手研究	松尾朗 講師	2026-2028	言語聴覚士養成教育におけるICEアプローチを応用した学習評価理論の構築	1,700

看護師のメンタルヘルス支援



本武 敏弘
看護学科准教授

私は臨床で精神看護専門看護師として看護師のメンタルヘルス支援に携わってきました。そこで、感じたのは看護師のメンタルヘルスが悪化したときにどうするか、ではなく、普段からどのように良い状態を保つのが重要であるということです。そうした経験をもとに博士課程では仕事に対する前向きな心理状態であるワークエンゲイジメントをテーマに研究を行い、現在は心理的安全性にも研究枠組みを広げ、その結果を現任者教育と関連付けて実装できる方法を研究しています。

新任教員
私の研究



川村 淳一郎
共通教育センター講師

宇宙は何からできているのか、という素朴な疑問に興味を持ち、素粒子物理学の研究をしています。目に見えないほど小さな粒子とその相互作用を理論的に調べ、実験や観測データと照らし合わせながら、自然の仕組みを理解することを目指しています。こうした研究を通して、宇宙の成り立ちを少しずつ明らかにしていきたいと考えています。

宇宙の成り立ちに思いをはせ

学生73人 競技・運営支える

くまもと障がい者
スポーツ大会陸上

第25回くまもと障がい者スポーツ大会の陸上競技が5月16日（土）、熊本市東区のえがお健康スタジアムで開催されました。この大会は10月に青森県で開催される第25回全国障害者スポーツ大会の熊本県予選を兼ねています。くまもんも応援に駆け付け、参加者たちと一緒に準備体操を行いました。

本学からは73人の学生が競技・運営補助員として活動しました。出場者が日ごろの練習成果を十二分に発揮できるよう、運営スタッフや審判ともコミュニケーションを取りながら、しっかりと役割を務めていました。

(作業療法学専攻 山野克明)



大会を陰で支えた本学の学生たち

アメリカ短期留学報告会



アメリカでのさまざまな体験を発表する
学生たち

図書館主催の「私の部屋でランチを」が4月27日（月）、キャンパステラスで開催され、今春、アメリカに短期留学した13人が「アメリカ短期留学報告会－4週間で見つけた世界と自分－」と題して発表に立ちました。

学生たちは3グループに分かれ、「ヒューストンの観光地や食文化」「ELSセンターでの活動」「日本との違い・言語の壁と学び」のテーマで発表しました。各グループ、4週間の留学生活で得た気づきや学びを、具体的な体験を交えながら紹介。観光地巡りや食文化を通して感じた異文化の魅力、ELSセンターでの授業やアクティビティで培った語学力と国際交流の広がり、そして文化や言語の違いに直面しながらも挑戦を重ねて成長していく姿が語られ、学生一人ひとりの視野が大きく広がったことが伝わる内容となりました。

発表後の質疑応答でも、演壇に立った学生たちは教職員からの質問に堂々と答えていました。（NL編集部）

銀杏アラカルト

■学生、職員も心地よい汗 校区GG大会

毎年春と秋の恒例となっている西里校区グラウンドゴルフ大会が5月29日（水）、本学グラウンドで開催されました。本学からも学生14人と職員3人が参加し、西里校区グラウンドゴルフ協会の人たち共に、さわやかな汗を流しました。グラウンドゴルフは、専用の木製クラブでボールを打ち、スタートからホールポストまでの打数の少なさを競うスポーツです。ゴルフが初めての方でも楽しめるのが特徴で、上位入賞者は8ホールを18打ほどで回ります。今年は、古閑特命副学長がホールインワン賞を獲得しました。（地域連携委員会）



周囲の声援を受け、ホールを狙って慎重にショット

インフォメーション

行事予定（6月1日～6月15日）

6/1（月）	お披露目講演会等②
6/10（水）	コンケン大学交換研修生 ウェルカムパーティー

※「NEWSLETTER330号」は6月15日（月）に配信します。